

25

TAKE FREE

hospita⁺lityC[♿]ourt

メディカルコート八戸西病院広報誌「ホスピタリティコート」

特集： 地域医療フォーラム

新型コロナウイルス感染症 医療を支えた宿泊支援

東横イン盛岡駅前 支配人 明石 理加さん

社長の健康メッセージ

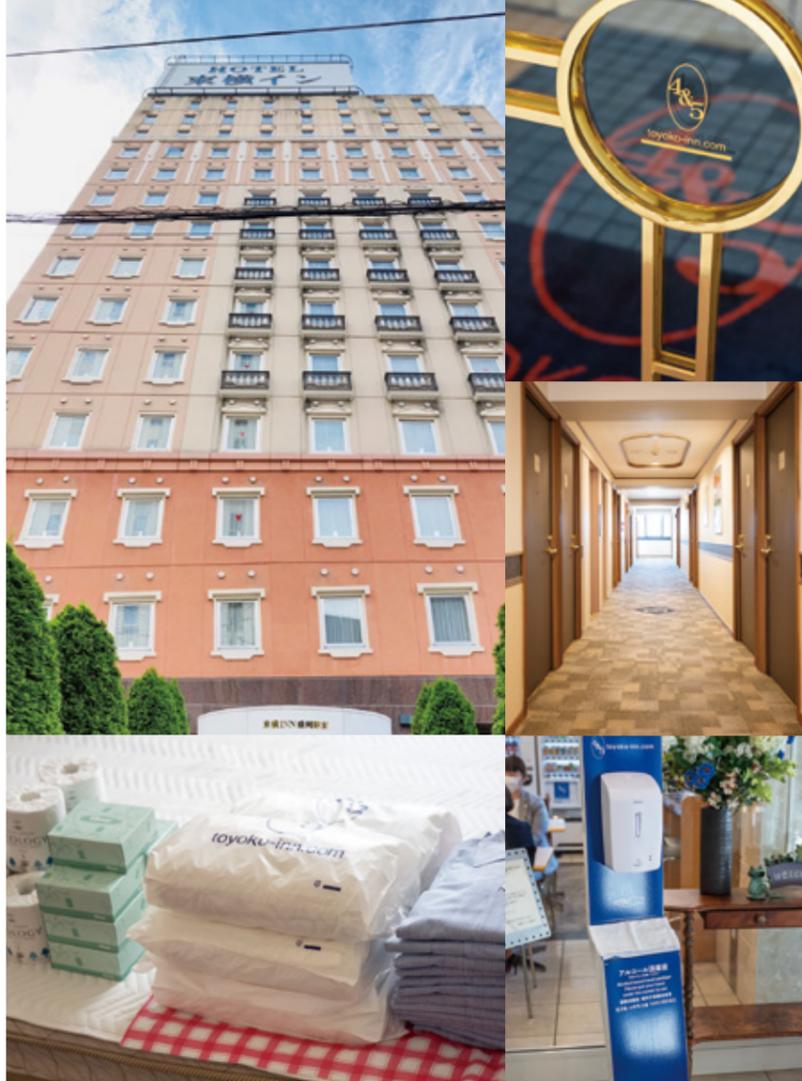
株式会社 橋文 代表取締役社長 橋本 博文さん



新型コロナウイルス感染症 医療を支えた宿泊支援

岩手県内の医療機関で新型コロナウイルスのクラスターが発生した際、ビジネスホテルチェーンの東横INN盛岡駅前はその医療機関に宿泊支援を申し入れ、およそ1カ月間、帰宅困難となった医療・介護スタッフや応援スタッフを受け入れました。当時の支援内容などを公益財団法人シルバーハビリテーション協会の田中理事長が同ホテル支配人の明石理加さんに伺いました。

東横INN盛岡駅前
支配人 明石 理加さん
1963年秋田市出身。秋田短期大学商経科卒。
2013年7月東横イン入社。同年8月から現職。



田中 昨年の冬に岩手県内の医療機関でクラスターが発生した際、御社は自ら支援を申し出たそうですね。会社として、そのような取り決めがあったのでしょうか。

明石 新型コロナウイルスが国内でまん延する直前、政府の水際対策として、海外から帰国してPCR検査を受けた方の結果が判明するまで待機する場所として、成田空港店を国に1棟貸し出したのが宿泊支援の始まりです。その後、首都圏での感染が広がり、今度は東京都からの要請を受け、4月に都内の店舗で軽症者と無症状者の受け入れを開始しました。

もちろん、ホテルスタッフへの感染リスクがあります。そのため、消毒の正しいやり方や適した頻度、3密の回避方法などの感染防止策を厚生労働省から指導されました。

それを基に、清掃の手順などをマニュアル化。これにより全国の店舗で、帰国者の他、帰宅困難となった医療従事者の宿泊支援もできると判断し、昨年4月から今に至るまで受け入れを続けています。

田中 受け入れ態勢が整っていたから、地元で感染者が出たらすぐに手を挙げようと考えていたんですね。実際、この店舗ではどのような動きがありましたか。

明石 岩手県内で初の陽性者が出た昨夏、帰宅困難となった病院スタッフの方の宿泊先になりました。その後も感染者が増えるたびに声を掛け、宿泊を受け入れています。

田中 クラスター発生時、お年寄りと同居している世帯など、さまざまな事情で帰宅困難となった医療・介護スタッフがたくさんいました。突然、帰る所がなくなった時、快く助けていただきホッとしたいと思います。実際に受け入れるに当たり、どのようなことを心掛けていましたか。

明石 まずは「行ったらっしやいませ」「お帰りなさいませ」という、明るい笑顔でのあいさつです。大変な思いをしている皆さんへの敬意を、普段通りのあいさつに込めています。特別扱いをせず、一般のお客さまと同様に接することが、私たちにできる最大限の支援だと考えています。

年末年始を挟んで約1カ月間、帰宅困難となった方々に宿泊していただきました。その間、食事を通してお客さまに季節を感じていただきたく、クリスマスにケーキを出したり、お正月のメニューにおせちを取り入れました。

今日はお忙しい中、本当にありがとうございました。

たりもしました。これらは、コロナ禍に限らず例年行っていることではありますが、とても喜んでいただき、こちらもうれしかったです。

人の密集を避けるため、部屋の前にテーブルを設置して食事を置き、部屋の中で食べていただきました。また、日中は部屋で休んでいる夜勤の方もいたので、掃除の際に出る音にも気を付けていました。

田中 仕事は大変で、家にも帰れず、時には遠ざけられることもある医療・介護従事者は、本当に苦しい思いをしていたはずで

そんな中で、ホテルスタッフの皆さんの明るいあいさつや季節を感じる配慮は、とても心強く感じたと思います。

明石 当社の全店舗で、お客さまと接したことが原因でスタッフが感染したという事例はありません。消毒、検温など、基本的な感染対策ができていれば問題がないということとを、スタッフ全員が理解しています。そのため、困っている医療・介護従事者の皆さんの役に立つことは、当然の社会貢献だと考えています。

田中 「基本的な対策ができていれば問題がない」という考え方が、もっと世の中に定着するといいですね。

新型コロナは、まだ終わりが見えません。そのような状況下での、御社の社会貢献について教えてください。

明石 当社はかねてから、地域社会への貢献を大切に考えてきました。新型コロナについて正しく理解し、取るべき対策を取りながら、全てのお客さまが安心・安全に宿泊できる施設として、今後も柔軟に対応していきます。

田中 新型コロナをいざ知らず恐れず、きち

健康につながる 足と靴の関係



社長の健康メッセージ

リーダーの人生は健康メソッドの宝庫だ。

vol.25

株式会社 橋文

代表取締役社長 橋本 博文 さん

profile: 1965年八戸市出身。青森県立八戸高、中央大学法学部政治学科卒業。1989年橋文入社。2008年から現職。

体の不具合を足元から改善

弊社は今年7月15日、創業150年を迎えました。現在、八戸市内を中心に6店舗を構え、靴や学校指定用品、スポーツ用品、作業用品などを販売している他、環境事業なども手掛けています。長年掲げている事業理念は「あなたの足元を楽しくする」。この理念をベースに、お客さまの足と靴の関係を良くすることを大切にしています。この関係は、体の健康にもつながるからです。そのため、昨年から店舗で「足と靴のなんでも相談会」を始めました。

それに当たり社内で勉強会をする中で気付いたのは、たこや外反母趾など、足に悩みを抱えている従業員が多いことでした。靴の販売を手掛ける業者として、まずは従業員の足の健康に対処しなければならぬと考え、さまざまなことを試験的に行いました。

そんな中、体のバランスを整える機能を持つインソールを使うことで、五十肩の症状が緩和された従業員がいました。私たちに医学的な施術はできません。しかし、靴選びやインソールによって、体の不

具合を改善することは可能です。そのことを、現在多くのお客さまに伝えていきます。

達成感生まれる十和田湖ウォーク

趣味はウィンタースポーツです。子どもの頃からアイスホッケーに親しみ、学生時代にはスキーを始めました。現在に至るまで、どちらも続けています。それに加え、毎朝一時間程度ウォーキングをしています。

これまで10回以上、毎年7月の「十和田湖ウォーク」に参加しました。高低差が激しいコースを50キロ歩くこのイベントは、本当に過酷です。私が初めて参加し

た時、自分より上の世代の方々にどんどん追い越されました。そのようなベテランの皆さんは、やはりウォーキングを日課にして健康を保っていますし、シューズの選び方や最適な歩き方をよく分かっています。

「一人ではできなくても、誰かと一緒に歩けるはず」。そう考えて、十和田湖ウォークには従業員も誘っています。当初は「絶対に無理」と首を横に振っていた人も、ゴールすると口々に「来年も出たい」と言いますし、仲間を誘います。ゴールすることによって達成感や一体感が生まれ、自信につながるのです。それは素晴らしいこと。このイベントは新型コロナウ

イルスの影響で昨年、今年と中止になってしまいましたが、再開されたら皆で参加するつもりです。

また、20年ほど前までたばこを吸っていましたが、周囲からの進言を受けて禁煙しました。そして健康のため、従業員にもたばこを止めてほしいと思い、弊社ではたばこを吸わない従業員全員に「禁煙手当」を支給しています。

それでも、長年喫煙している人が禁煙するのは難しいです。そのような従業員に対しては、私が直筆で「大切な社員の健康を守るのが私の仕事。そのために禁煙してほしい」との旨を書いたはがきを、毎年自宅に送っています。届いたはがきを最初に見るのは、家族であることが多いです。家族のことを考えて、禁煙を決断してほしいという狙いもあります。

健康に役立つ企業でありたい

仕事をする上での座右の銘は「雨洗風磨」。禅の言葉です。困難に真正面から立ち向かい、前に進むことで、自己の成長につながることを意味します。

弊社は長い歴史を持っています。私には、先代からの事業を継承するだけでなく、時代に合ったビジネスを展開し、



上) 橋本社長はじめ多くの社員が参加していた十和田湖ウォーク。ゴールした時の達成感は格別だ。

下) 足の健康を保つ靴選びのため、足の長さや幅、足囲を自動で測る足型計測器。

data

株式会社 橋文

HASHIBUN



住所: 八戸市卸センター1丁目9-1
設立: 1871年7月

靴・履物小売事業、卸直販事業を中心に、学校指定運動着・シューズ・通学カバンを扱うスクール部門などを行っている。近年ではウイルスや細菌を不活性化できる除菌水も取り扱っている。

当院には、さまざまな経歴や資格をもつ職員が在籍しています。その個性を生かした活躍ぶりやリアルエピソードをご紹介します。

人にライフあり、ワークあり、歴史あり。

技師としての研鑽、後進指導を地域医療への貢献へ

八戸市内の病院で35年ほど臨床検査技師として仕事を続け、2020年11月から当院で勤務しています。臨床検査技師の業務の中でも、超音波検査は、医師の診断に直結するため、医師並みの知識と考える力が必要となります。特に血管エコーは歴史が浅く、知識と経験を積めば極めていける分野なので、若い頃からいろいろな研修会に参加して研鑽してきました。的確な画像を医師へ提供し、信頼を得ると自信が付き、正しい診断の一助になれたことが嬉しくて、技術を磨いて来れたのだと思います。その結果、光栄なことに、東北地区での技術研修会では講師を務めさせていただきました。私見ですが、技師として成長するためには、認定の資格を取得したり、学会で発表する

ことも必要だと考えています。当院の検査科スタッフは若い人が多く、さらなるスキルアップの可能性を秘めているので、自分の知識と技術と経験をもとに指導・育成にも努めていきたいと思っています。これからも、我々技師が良いエコー画像を提供することで適切な治療に結びつき、それが地域社会への貢献に繋がっていく、という意識を持って努力していきます。

略歴

1985年3月	弘前大学医療技術短期大学部 衛生技術学科卒
1985～2020年	八戸市内病院勤務
2020年11月	八戸西病院入職



診療部 検査科
臨床検査技師
Yuji Chiba
千葉 祐一

※上記取材内容は2021年7月時点のものです。

もっと向上できる、ホスピタリティ。

チャレンジ 改善委員会

おのれに勝つこと

おのれに勝つこと

サービス、医療安全、感染対策などをホスピタリティ目線で改善するプロジェクト展開中です。



対話支援システムCOMUOONを導入しました



備え付けのマイクのほかにピンマイクを使用することで、よりクリアな音声でご案内できるようになりました。

新型コロナウイルス感染症対策のピンシートにより、外来窓口で職員と患者さまの会話がしづらい状況があり、その改善策として会話の音声を高齢の方でも聞こえやすい周波数に変換する専用のスピーカーを設置しました。何度も聞き返す必要がなくなり、飛沫防止による感染対策のほか、患者さまの満足度向上につながり、よりスムーズに対応できるようになりました。新型コロナウイルス感染症の影響で通常通りのご案内ができない日々が続いておりませんが、少しでも患者さまの負担を減らせるよう努めてまいります。



よりスムーズな搬送ができる担架に リニューアルしました



リニューアルした担架は軽量で強度も高く、搬送するスタッフの負担も軽減され、より安全な搬送ができます。

年2回実施している避難訓練の中で、担架搬送訓練は重要な項目のひとつです。この度、緊急時においても、より安全で、安定した搬送をスムーズに行える担架を導入しました。担架のハンドル部分を伸ばして、左右に広げるという2アクションだけで組み立てが完了し、付属のベルトで患者さまを固定することで安定した搬送ができます。これからも、患者さまが安心して入院生活が送れるよう治療環境を整えるとともに、緊急時には安全を最優先した速やかな体制を整えてまいります。

チーム医療を支える当院のスペシャリストたち。
その専門職種ごとの一日の活躍ぶりをレポートします。

卒業生が活躍する姿は
教員冥利に尽きます。



#02

看護専任教員

Nursing Teacher

自分自身も経験した地域医療の未来を担う看護師の育成に携わる重要な仕事です。理想とのギャップや難しい業務もありますが、学生の成長の様子や資格を取得した卒業生が活躍する姿は教員冥利に尽きます。在校生、卒業生とともに、チーム医療の中でその人らしく過ごせる日々を支えていきたいと思っています。

八戸看護専門学校
看護専任教員 石井喜久子
千葉県立衛生短期大学・
産業能率大学卒
認知症看護認定看護師



SGグループが運営する
八戸看護専門学校に勤務



青森県内初の民間看護専門学校として
多くの看護師を輩出しています。

08:00 出勤・準備

08:00 臨地実習日

学内日は8時頃出勤。臨地実習日は7時45分頃直接病院に出勤し、病棟に学生が上がる前に予定や目標の指導。5~10人の学生を担当し、実習指導者・担当看護師と相談しながら、学生が行なう援助の指導・見守り、実習記録の点検・助言をします。



12:00 昼食休憩

教員仲間と気がかりなことの相談したり、好きなグルメやお取り寄せの話題など、たわいない会話でリフレッシュしています。

13:00 学内講習日

授業は1~3科目担当し、内容・進め方・方法など計画し、実習・臨床の場面も交えてイメージしやすく、学習意欲が高まるように工夫しています。

17:30 業務終了

Note 地域との深い繋がりを感じながら
幅広い活動ができる環境があります。

八戸看護専門学校は病院・健診・介護など幅広く運営するSGグループに所属しているため、学生にとっても教員にとっても、地域に根ざした深い繋がりを感じながら活動することができます。



もっと開こう、
地域へ。

OPEN
HOSPITAL

オープンホスピタル

医療事務実習

大原簿記情報ビジネス医療福祉専門学校 盛岡校

地域の医療実習生や職場体験の受入れに
私たちは積極的に取り組んでいます。

患者さまの安心と 診療業務を支える仕事

2月22日から3月12日までの3週間、大原簿記情報ビジネス医療福祉専門学校盛岡校の医療事務実習が当院医事課で行われました。

医療事務の主な仕事は3つで、外来窓口での受付・会計業務、外来・入院の診療報酬請求事務、診療の記録管理です。実習では窓口業務を中心に、後半はデータ入力や医師事務作業補助業務体験も実施しました。いずれの実習でも、笑顔で迅速な対応や指導スタッフへの積極的な質問など、スキルを高めようという姿勢が印象的でした。

実習生は、学校では学べない現場体験を通して、医療事務スタッフとして働く将来をより具体的に知ることができ、貴重な経験をしたと実習を振り返りました。

医療事務は患者さまに安心感を与え、診療業務を支える非常にやりがいのある仕事です。これからも、この仕事を志す学生さんをきめ細かくサポートしていきたいと思っています。



医師事務作業補助業務について見学・体験しました。入力内容は慎重に確認します。



たくさんのカルテの中から診療予約の入っている患者さまのカルテを取り出します。元の場所へ返却する際の手順も覚える必要があります。



受付で患者様をご案内するときは笑顔で対応します。接遇について基本的なことを学びました。



診察前後のカルテ確認を行います。詳細な項目のチェックを経て会計となります。ここでも覚えることはたくさんあります。

i Information

「病院見学会」を開催します

8月21日(土)11:00~12:30、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、社会福祉士、診療放射線技師、臨床検査技師を目指す学生を対象に病院見学会を開催します。お問い合わせ、お申し込みはメールまたはお電話(0178-28-4000)で承ります。詳細は当院公式WEBサイトでご確認いただけます。



バリウム検査後に ミネラルウォーターを進呈

八戸西健診プラザでは、バリウム検査を受けた方に、下剤の服用、水分補給用として、胃にやさしい超軟水ミネラルウォーター「かがやかしづく」の配布サービスを始めました。この商品の収益は専門学校の図書購入など学習支援に活用されています。お問い合わせは学校法人臨研学舎後援会 ☎0178-61-0606まで。



マンモグラフィーサンデーを 開催します

10月17日(日)、八戸西健診プラザにて、ご多忙な平日をお過ごしの方に、日曜日に乳がん検診を受けられる「マンモグラフィーサンデー」を開催します。併せて子宮頸がん検診も行っていますので、早期発見、早期治療のために、この機会をご利用ください。ご予約・お問い合わせは ☎0178-21-1717へ。



八戸看護専門学校 オープンキャンパス開催

八戸看護専門学校で、7月22日(木・祝)、8月1日(日)、8月21日(土)の10:00~13:10に、高校生・社会人の方を対象としたオープンキャンパスを開催します。講義体験、演習体験、在校生との交流会もあります。定員は各回40名です。お申し込みは学校ホームページから、お問い合わせは ☎0178-28-4002まで。



地域の農家さんが
地域の土と空気と水で育てた食材で
おいしくいただいて健康になる
しあわせ地産スイーツ。

しあわせ
Chisan
Sweets

十和田市産ブルーベリーを使って
ブルーベリーマフィン

Blueberry muffins

ブルーベリーの注目成分は植物性色素「アントシアニン」というポリフェノール一種で、100gあたり300mg含まれています。アントシアニンには強い抗酸化作用があります。また、筋疲労の抑制効果も期待できます。ほかには、動脈硬化を予防する栄養素のビタミンC、便秘予防に効果的な食物繊維も豊富に含まれています。

【作り方】

- ① ボウルにバター、上白糖を入れて練り混ぜる。
- ② ①に卵を加えて混ぜる。
- ③ ②にホットケーキミックスと豆乳を加えて混ぜる。
- ④ マフィンカップを天板に置いて③を1/3量ずつ入れ、ブルーベリーを各5粒ずつ入れる。
- ⑤ 天板ごとトントンとテーブルにあてて生地をならし、予熱180℃のオーブンで15分焼いて完成。

【材料】9個分

- 卵・・・・・・・・・・ 3個(Mサイズ)
- ホットケーキミックス・・・ 300g
- 豆乳・・・・・・・・・・ 100ml
- ブルーベリー・・・・・・ 90g
- 上白糖・・・・・・・・・・ 90g
- 無塩バター・・・・・・・・・・ 150g



管理栄養士
根岸 玲子
介護老人保健施設 とわだ



公式Instagramで
ご覧いただけます

Event イベントスケジュール

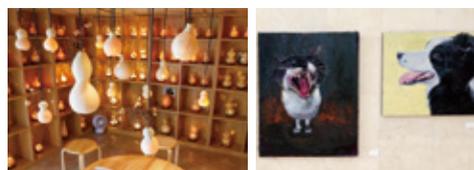
9月6日(月)～9月30日(木) 終日 水彩画・点画展 山本悠宮氏 交流ホール 当日自由参加

10月1日(金)～10月31日(日) 終日 書道・篆刻 書作展 泰雲堂 市川不言氏 交流ホール 当日自由参加

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ステージパフォーマンスを自粛しています。

どなたでも無料観覧できる交流ホールイベント開催中

当院 1F交流ホールでは、どなたでも無料でお楽しみいただけるイベントを開催しています。季節やテーマに合わせた多彩なプログラムのほか、写真や絵画等の展示イベントも開催しております。また、ご来院の方には手指消毒と検温、マスク着用のご協力をお願いいたします。



八戸西健診プラザと広報誌新企画「しあわせ Chisan Sweets」の公式Instagramを開設しました

八戸西健診プラザでは、トピックスやスタッフの仕事ぶりの紹介を、「しあわせ ChisanSweets」では広報誌との連動内容など、皆さまのお役に立てる情報を発信しています。



八戸西健診プラザ
公式Instagram



しあわせ
Chisan Sweets
公式Instagram

Note 編集ノート

はちのへクリーンパートナー制度でボランティア清掃を行いました。

「はちのへクリーンパートナー制度」は八戸市が市民と協働で進める環境美化活動です。当院では 2013年からこの活動に参加しています。当日は、当院職員の中から 33名がボランティア参加し、草むらの中のゴミや車道縁石付近のたばこの吸い殻など、あまり目につかない部分まで綺麗に清掃できました。これからはちのへクリーンパートナー活動を行い、地域の環境美化に貢献していきます。



当院から八戸西郵便局までの区域で、主に歩道上の清掃活動を行いました。